

2015年12月11日

各位

公益財団法人 オリックス宮内財団
オリックス不動産株式会社

沖繩サンゴ礁再生プロジェクト 沖繩の子どもたちがサンゴ礁の苗を作る 「体験・学習プログラム」を開催

オリックス不動産株式会社（住所：東京都港区、社長：松本 哲男）は2008年7月から取り組んでいる「沖繩サンゴ礁再生プロジェクト」において、公益財団法人 オリックス宮内財団（所在地：東京都港区、代表理事：宮内 義彦、以下「オリックス宮内財団」）と「沖繩サンゴ礁再生プロジェクト／児童体験・自然環境保全活動」を開催しますのでお知らせします。

「沖繩サンゴ礁再生プロジェクト／児童体験・自然環境保全活動」は、今回で9回目となり、沖繩県下の児童擁護施設、母子生活支援施設、少年野球チームの児童70名を招待し、「サンゴ礁って何だろう？サンゴ礁の再生活動に参加してみよう」をテーマに「児童体験・学習プログラム」を実施します。

■開催スケジュール

日時：2015年12月12日（土）

①第1部 10：00～12：10

②第2部 11：30～13：30

③第3部 14：00～16：10

場所：沖繩県浦添市牧港 5-22-6

沖電開発株式会社 水産養殖研究センター（TEL：098-871-1820）

参加人数：①②③合計で70名

テーマ：「サンゴ礁って何だろう？サンゴ礁の再生活動に参加してみよう」

概要：①サンゴ養殖水槽の見学

②移植用サンゴ苗の台座作り体験

③沖繩の環境学習



Press Release



■「沖縄サンゴ礁再生プロジェクト」について

2008年7月からサンゴ礁やサンゴと共生する生物など海洋環境の保護を通じて、地球環境の保全に貢献する目的でスタートしました。既に約8,600本を沖縄県に移植しており、10,000本の移植を予定しています。



■過去の「児童体験・学習プログラム」の実績

2009年3月から沖縄県下の子どもたちを毎回20名～40名招待して開催しました。沖縄の海洋生物を見学したり、触ったり、サンゴ苗の台座をつくる体験から沖縄のサンゴ礁の美しさや、自然の大切さを学習するきっかけとなることを願うプログラムを実施しました。サンゴ苗は水槽で3ヶ月養殖し、沖縄県宜野湾市沖に移植しました。

(写真は昨年2月の様子)



■オリックス宮内財団について

オリックスグループは、企業活動による貢献だけではカバーしきれない社会福祉、子ども・青少年、環境保全、音楽、文化芸術、スポーツ振興、国際協力などへの支援活動を行うことを目的に、2006年4月に「オリックス社会貢献基金」を設立し活動をしてきました。その後、2010年4月に、同基金の支援活動を引き継ぐ形で「一般財団法人 オリックス財団」を設立、2010年12月に公益財団法人として認定を受け「公益財団法人 オリックス財団」として、2014年6月に「公益財団法人 オリックス宮内財団」へ名称変更して公益の一層の増進と、真に「豊かな社会」の実現に寄与することを目的に、社会貢献活動を継続的に行っています。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

オリックス不動産株式会社 広報担当 永井・上園・鷺見

TEL : 03-5418-4313